会 議 録

平成 27 年度第 8 回 大平地域会議	
平成 28 年 2 月 25 日 (木) 午後 5 時 3 分 開会 午後 5 時 36 分 閉会	
大平総合支所新館2階 第一・第二会議室	
赤澤 美智子 伊藤 宏幸 熊倉 匡志 黒田 愛美子 小林 明彦	
清藤 良人 大類 昭子 高際 悦子 富山 勝也 中島 豊和	
平井 良三 藤﨑 英治 藤原 美恵子	
佐山 幸子 関根 淑子 稗田 真純 山田 義久	
大平総合支所長 小林 敏恭	
大平地域まちづくりセンター所長(地域まちづくり課長) 茂呂 浩司	
同 副主幹 金子 好宏	
同 主査 戸田 良訓	
同 主査 高橋 綾子	
同 主任 田中 佳代	
なし	
1. 新斎場建設地の決定について	
2. とちぎ未来アシストネットの報告について	
3. その他	
公開	
0名	
会議の経過	
・発言内容・決定事項	
開会	
あいさつ	
情報提供	
新斎場建設地の決定について	
マ田本地はの油ウト ロンマー次型に	
斎場建設地の決定について、資料に基づいて説明。	
业細の説明にのいて	
当課の説明について、質問等があるか。	
建設地が決まったということで、完成はいつ頃になるか。	
本構想では、平成 29 年度から平成 30 年度と謳っているが、基本構想・基本計	
用地選定を十分にやっていたので、予定よりも時間がかかっている。	

ただ、来年度には測量等の事業に着手し、そこを発注すれば、おおよその時期が 見えてくると思われる。来年度には再度精査していきたい。

◆平井委員

それまでは、現在の斎場を利用すると思われるが、老朽化等の問題は大丈夫なのか。

●担当室長

2年前に5つの炉を全て改修しているので、5年・10年くらいはもつのかなとは 思っている。しかし、合併して使用する回数が増えているので、楽観視はできない。

◆藤﨑委員

ここに概要があるが、これはもう決まったことなのか。

●担当チームリーダー

概要は参考としてつけてあり、現斎場は今ある建物だが、新斎場については基本計画にあるもので、どのような部屋で、何㎡あるのかという仮の計画はある。実際にこの概要どおりになるというわけではないが、概ねの延べ面積や炉の数、式場の収容人数等の基本的なものは、このとおりに建設する予定となっている。

4. 【委員報告】とちぎ未来アシストネットについて

◆平井委員

とちぎ未来アシストネットとは、学校・家庭・地域の連携・協力を組織的に発展 させ、より効果的に「学校支援(教育の充実)」や「地域の絆づくり」等を図る教 育システムである。

いわゆる学校の指導要綱だけではなく、地域の皆が生涯学習ということで、いろいろなお手伝いを積極的にするものである。われわれのような地域の大人と結びついて、子どもがよりよい環境で育つようにお手伝いしましょうというのが基本になっている。子どもたちに家庭教育をということで学校が進めているものである。

市内全ての小中学校に学校コーディネーターをおき、われわれ地域住民の中で、こういったことに関心を持っている人や、手伝うスキルを持った人が地域コーディネーターとなり、支援を行うものである。

学校支援の受け入れ延べ人数は、栃木市全域で前年度が25万3千人だったのに対し、今年は42万3千人に増えたことからも、多くの人が手伝っていることがわかる。しかも、この中で大平地域の人数が相当数を占めており、大変驚いた。その1つは、下校の見守りというのが大半を占め、このような数字になっている。

さらに、平成28年度からの重点事業としては、公民館の社会教育機能の活性化ということで、学校の子どもたちと連携を組めるように、公民館の社会教育ででたものを学校でも組めるようなつながりを進めていこうということになっている。それから、学校と地域が双方向で支援し合うということで、今までは学校から依頼するかたちが多かったが、学校を支援するために、逆に地域が学校へ積極的に連絡をしようという方向で進めることとなっている。

これをより強固にするために、学校教育協議会、学校運営協議会をつくり、その中で運営について話し合いができるという仕組みになった。

より地域とのつながりを強くし、風通しのよい方向にと進める予定となってい

	る。委員の皆さまからも、地域コーディネーターへ積極的に提案をしてほしいとの
	話があった。
●事務局	5. 閉 会